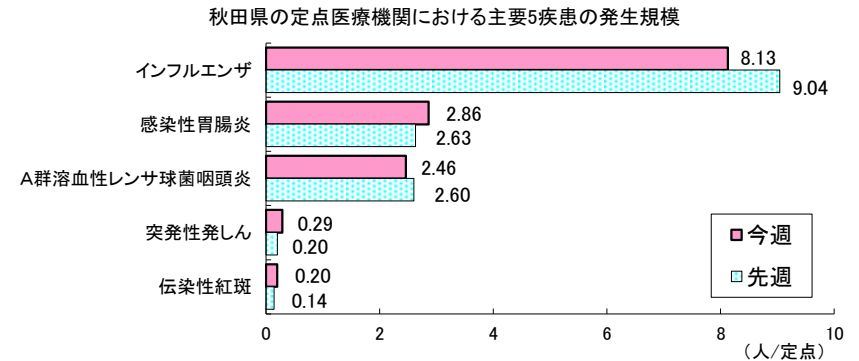




**【第11週の発生動向】**

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で10%減少しています。保健所別では、北秋田、能代、由利本荘、横手で増加、秋田市、大館、秋田中央、大仙、湯沢で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で9%増加しています。保健所別では、北秋田、能代、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、由利本荘で同規模、秋田市、大館で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で5%減少しています。保健所別では、北秋田、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市、大館、秋田中央、大仙で減少しています。



**発生報告**

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減	第10週	第11週	増減			
RSウイルス感染症	0.03		↘				0.25		↘																					
インフルエンザ	9.04	8.13	↘	9.73	4.09	↘	6.57	6.14	↘	6.67	10.33	↗	4.75	7.25	↗	12.33	6.17	↘	6.67	12.00	↗	10.57	10.29	↘	8.20	10.00	↗	13.40	12.00	↘
咽頭結膜熱	0.17	0.06	↘	0.29	0.14	↘										0.25		↘	0.25	0.25							0.50		↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.60	2.46	↘	4.00	3.43	↘	0.25		↘		0.50	↗				5.50	5.00	↘	3.25	3.75	↗	2.50	1.25	↘	1.33	1.67	↗	3.25	4.00	↗
感染性胃腸炎	2.63	2.86	↗	5.14	3.14	↘	1.25	0.50	↘	2.50	4.00	↗	2.33	5.00	↗	2.25	3.25	↗	0.50	0.50			1.25	↗	4.00	5.00	↗	4.00	4.50	↗
水痘	0.14	0.03	↘				0.75		↘													0.25	↗	0.67		↘				
手足口病		0.03	↗																	0.25	↗									
伝染性紅斑	0.14	0.20	↗		0.14	↗	0.75	1.50	↗										0.50		↘									
突発性発しん	0.20	0.29	↗	0.43	0.29	↘	0.25	0.75	↗	1.50	0.50	↘		0.33	↗					0.50	↗								0.25	↗
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎	0.06	0.03	↘										0.33		↘							0.25	↗							
川崎病		0.03	↗																	0.25	↗									
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.14		0.33		↘				*	*		*	*		*	*			1.00	↗					*	*			
細菌性髄膜炎	0.13		↘													*	*		1.00		↘									
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.38	↗							2.00	1.00	↘				*	*											2.00	↗	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田中央保健所管内から3人、報告されました。
- ・四類感染症のA型肝炎が横手保健所管内から1人、レジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が横手保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-10週 全国	10週 秋田	11週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	3530	17	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	19		
	腸管出血性大腸菌感染症	198		
	腸チフス	6		
	パラチフス	4		
四類	E型肝炎	79		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	97	6	1
	エキノкокクス症	1		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	3		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-10週 全国	10週 秋田	11週 秋田
四類	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	40		
	デング熱	57		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	4		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	6		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	260	2	1	
レプトスピラ症				
ロッキー山紅斑熱				
五類	ア메ーバ赤痢	158	3	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	60		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	356	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	12		
	急性脳炎	289	3	
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	30		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	192	1	
	後天性免疫不全症候群	190		
	ジアルジア症	8		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	128	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	12		
	侵襲性肺炎球菌感染症	743	5	
	水痘(入院例に限る)	77		
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	1132	2	1
	播種性クリプトкокクス症	28		
	破傷風	8		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	16		
百日咳	2989	36	2	
風しん	860	2		
麻しん	304			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5			

トピック

<3月24日は世界結核デーです>

毎年3月24日は、細菌学者のロベルト・コッホが結核菌の発見を発表した日にちなみ、世界結核デーに制定されています。今年のテーマは、“It's TIME! (時が来た!)”です。厚生労働省では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに、結核低まん延国の水準である罹患率※10.0以下を目指しています。しかしながら、国内における結核罹患率は減少傾向にあるものの、目標の罹患率10.0以下には至っていません。他の先進諸国に比べても高い水準となっており(図)、一層の対策の推進が求められています。 ※罹患率：各国の制度に基づいて届出された結核患者数を人口10万人あたりの率で表したもの

■結核の予防対策

- ・乳児は、遅くとも生後1歳までにBCGワクチンを接種しましょう。
- ・結核は健診で発見できます。症状がなくても、年に一度は職場や地域での健診を受けましょう。
- ・喫煙は結核感染や発病のリスクを高めますので、禁煙を心がけましょう。
- ・閉め切った室内では、病原体の密度が高くなり感染しやすくなります。換気の悪い狭い場所や、不特定多数の人が利用する場所などでの長時間の滞在を避けましょう。
- ・免疫力が低下しないように栄養バランスのよい食事や規則正しい生活を心がけましょう。

結核の初期症状は、咳、痰、発熱、倦怠感など風邪によく似ています。このような症状が2週間以上続く場合は、早めに医師の診察を受けましょう。

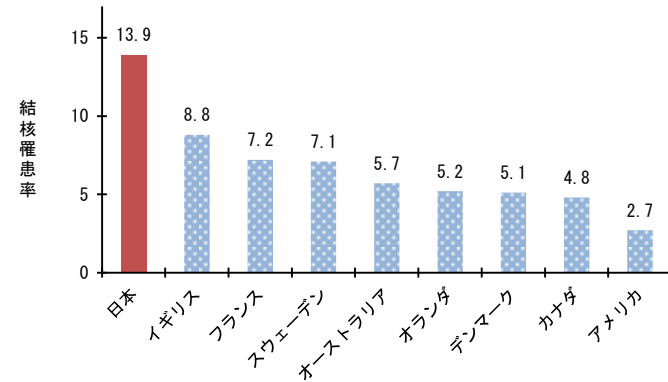


図 日本と諸外国の結核罹患率(人口10万対、2016年) 参照:結核の統計2018



2018年/2019年シーズン (2018年第36週: 9月3日~)  
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

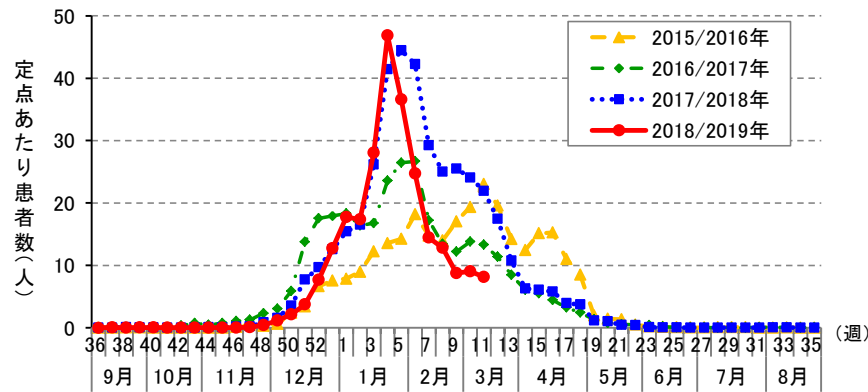


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン  
秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
3/11~3/17 (11週)	累計	3/4~3/10 (10週)	累計
17	276	363	19,005

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が13件報告されました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
133	大館市	矢立育成園	3/11	32名のうち 9名	23名のうち 1名	10名
134	能代市	さかき幼稚園	3/11	124名のうち 12名	17名のうち 0名	12名
135	秋田市	特別養護老人ホーム やすらぎホームけやき	3/11	118名のうち 8名	70名のうち 3名	11名
136	由利本荘市	石脇北保育園	3/11	95名のうち 11名	26名のうち 0名	11名
137	大館市	白沢通園センター	3/12	83名のうち 12名	34名のうち 0名	12名
138	横手市	介護老人保健施設 やすらぎの苑	3/12	148名のうち 11名	90名のうち 0名	11名
139	大館市	グループホームらいふ	3/13	9名のうち 7名	9名のうち 3名	10名
140	にかほ市	つぼみ保育園	3/13	39名のうち 9名	19名のうち 4名	13名
141	横手市	市立横手病院 4C病棟	3/13	36名のうち 6名	31名のうち 5名	11名
142	由利本荘市	石脇西保育園	3/14	206名のうち 12名	50名のうち 0名	12名
143	大館市	デイサービスセンター かつら	3/15	70名のうち 8名	13名のうち 2名	10名
144	湯沢市	特別養護老人ホーム 健寿苑	3/15	48名のうち 10名	40名のうち 4名	14名
145	大館市	大館市立総合病院 (透析室)	3/16	89名のうち 10名	13名のうち 1名	11名

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(3月17日時点)の報告数

145施設: 社会福祉施設38、保育所・幼稚園94、病院13

<参考>

○昨シーズンの年間報告数

170施設: 社会福祉施設44、保育所・幼稚園119、病院7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



感染性胃腸炎情報

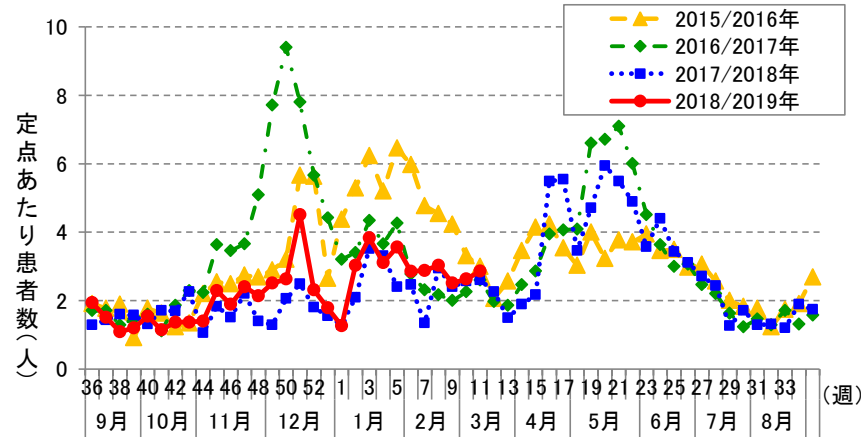


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が4件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
56	東成瀬村	なるせ保育園	3/11	79 名のうち 10 名	31 名のうち 0 名	10 名	3/9 ~ 3/11	嘔吐、下痢	ノロウイルス
57	横手市	旭保育園	3/13	107 名のうち 13 名	26 名のうち 2 名	15 名	3/5 ~ 3/13	下痢、嘔吐、発熱	ノロウイルス
58	横手市	沼館保育園	3/14	150 名のうち 17 名	37 名のうち 2 名	19 名	3/9 ~ 3/14	下痢、嘔吐、発熱、腹痛	ノロウイルス
59	能代市	能代感恩講保育所	3/15	47 名のうち 13 名	16 名のうち 0 名	13 名	3/11 ~ 3/15	嘔吐、下痢	ノロウイルス

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

○平成30年度(3月17日時点)の報告数

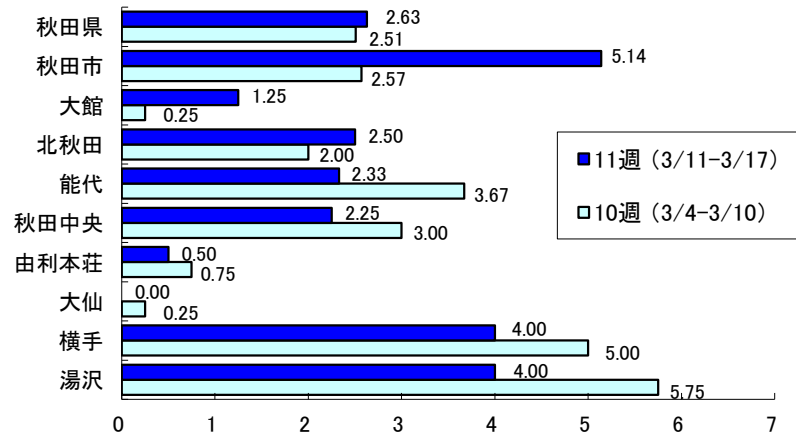
59施設 有症者811名: 社会福祉施設6、保育所・幼稚園52、病院1

<参考>

○平成29年度の年間報告数

42施設 有症者637名: 社会福祉施設8、保育所・幼稚園34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



定点あたり患者数(人)

図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	北秋田(10.33)、由利本荘(12.00)、 大仙(10.29)、横手(10.00)、 湯沢(12.00)	-

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、湯上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		